



みずぶそく お 水不足が起こるのはなぜ

かわ すいりょう へんか 川の水量の変化

みずは、わたしたち人間にとって、いのちのみなもとといわれるほど重要なものですね。みずは、わたしたちの生活や、産業にとって、欠くことのできないものです。

わたしたちは、この水を川の水にたよっています。ですから、川の水量がどれくらいあるのかを知ることが、とても重要です。

川の水量は、毎日変わっています。1年間の水量の変化を表すと、豊水流量（水量が豊かなとき）、平水流量（水量がふつうのとき）、低水流量（水量が少ないとき）、かつ水流量（水量が特に少ないとき）に分けられます。

川の水の利用を考える場合、いちばん水が少ない時期の、かつ水流量のときを基準にして、計画を立てるのです。

みずぶそく はっせい 水不足が発生する3つのケース

一つ目は、島や半島などで、貯水池などを造ることができないため、しばらく雨が降らないと、たちまち、水不足になるケースです。

二つ目は、ダム completion がおくれ、水が計画通りに送られてこないの、川の水を利用して、まだ、足りない状態になり、水不足になってしまうケースです。

三つ目は、長い間雨が降らず、異常ともいえるほど、水量が少ないときに起こる水不足で、これは異常かつ水といわれます。

これまでに発生したかつ水は、雨が降らないなどの自然的条件と、水のじゅ要が急速にのびた、などの社会的条件が重なって起こったものです。（監修・保岡 孝之）

